

役に立つ情報源の紹介

この章では、第4章で紹介したデータベースや、情報を収集する際に役に立つ情報源を紹介します。ここではインターネット上の情報源のみを紹介しますが、参考図書（辞書・事典など）も有用な情報源となりますので、調べ物をする際にはお気軽に図書館カウンターへご相談ください。

7.1 第4章で紹介した各種情報源

- ・ JapanKnowledge(ジャパンナレッジ)
(http://www.lib.u-toyama.ac.jp/JapanKnowledge_guide.html) 学内限定



図 7-1 JapanKnowledge

百科事典や辞書など 50 種類のコンテンツの情報を一括して検索することができるデータベースです。言葉の意味や事柄について調べるときは、まずはこの JapanKnowledge を使ってみましょう。引用情報付きでコピーする機能もあります。週刊エコノミストや東洋文庫などの雑誌や叢書を読むこともできます。

- ・ 富山大学附属図書館 OPAC (オーパック) (<http://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opac/>)



図 7-2 富山大学附属図書館 OPAC

富山大学で所蔵している資料（図書・雑誌・電子ジャーナル・電子ブック・視聴覚資料）を検索できるツールです。資料についての情報（タイトル・著者名・出版年など）と、どこに資料があるのか（配架場所）がわかります。

- ・ CiNii Books(サイニィブックス) (<https://ci.nii.ac.jp/books/>)



図 7-3 CiNii Books

全国の大学図書館等が所蔵する資料（図書・雑誌）の情報を検索できます。必要な資料が富山大学に無い場合は、CiNii Books で他大学の所蔵を調べてみましょう。所蔵館から資料を取り寄せて利用することもできます（有料）。

- ・ WorldCat(ワールドキャット) (<https://www.worldcat.org/>)



図 7-4 WorldCat

世界中の図書館の所蔵する資料（図書・論文・DVD など）の情報を検索できます。必要な資料が国内に見つからない場合は、WorldCat で調べてみましょう。時間とお金はかかりますが、海外の資料も取り寄せることができます。詳しくはカウンターでお尋ねください。

- ・ CiNii Articles(サイニィアーティクルズ) (<https://ci.nii.ac.jp/>)



図 7-5 CiNii Articles

日本の学術論文を中心とした論文情報を検索できます。日本語の論文を探す場合は、まずはこの CiNii Articles を使ってみましょう。電子ジャーナルへのリンクボタンから本文を見たり、OPAC へのリンクボタンから論文の掲載されている雑誌の所蔵を確認したりすることもできます。

- ・ Web of Science(ウェブ オブ サイエンス) (<http://apps.webofknowledge.com/>) 学内限定



図 7-6 Web of Science

自然科学・社会科学・人文科学の世界の主要な論文情報を検索できます。英語の論文を探す場合は、まずはこの Web of Science を使ってみましょう。引用情報も充実しているので、様々な用途に使えます。電子ジャーナル・OPAC・文献複写申込などへのリンク機能もあります。

- ・ Google Scholar(グーグル スカラー) (<http://scholar.google.co.jp/>)



図 7-7 Google Scholar

Google の提供する学術情報検索サービスです。分野や言語を問わず、世界中の学術論文を中心とした学術情報(引用情報もあり)を検索することができます。学内からアクセスすれば、電子ジャーナルへのリンクボタンも表示されます。

- ・ 富山県内図書館横断検索 (<http://lib2.lib.pref.toyama.jp/CrossLibrary/>)



図 7-8 富山県内図書館横断検索

富山県内の図書館の所蔵状況を一度に検索できます。県内の公共図書館に所蔵があれば、無料で取り寄せることができます。ただし、入手までに1～2週間ほど時間がかかります。取り寄せ申込方法は4.6.3節をご覧ください。

富山県内だけでなく、東海北陸地区（石川・福井・岐阜・愛知・三重）の公共図書館からも無料で取り寄せができます。県ごとに横断検索システムがありますので、富山県内に所蔵が無ければ、他の県の所蔵を調べてみましょう。

7.2 その他の有用な情報源

7.2.1 調べ物

- ・コトバンク (<https://kotobank.jp/>)



図 7-9 コトバンク

複数の出版社の百科事典や辞書などを一括して検索できるサービスです。JapanKnowledgeは学内限定アクセスで同時接続数にも限りがありますが、コトバンクはフリーアクセスで利用できます。

- ・国立国会図書館リサーチ・ナビ (<http://rnavi.ndl.go.jp>)



図 7-10 国立国会図書館
リサーチ・ナビ

調べ物に役立つ情報を、テーマや資料の種類別に紹介してくれるサービスです。調べ方のノウハウの案内もありますので、どうやって情報収集をすれば良いかわからないときは、このリサーチ・ナビも参考にしてみてください。

7.2.2 デジタル資料

- ・ 国立国会図書館 デジタル化資料送信サービス 館内限定



図 7-11 国立国会図書館
デジタル化資料
送信サービス

国立国会図書館デジタル資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料を、図書館を通じて閲覧・複製することができるサービスです。約 150 万点の資料が利用できます。同様のサービスとして、国内で製造された 1900 年～ 1950 年頃の SP 盤等の音源を聴くことのできる「歴史的音源（れきおん）」も館内限定で利用できます。ご利用は各館カウンターまで。

- ・ 日経 BP 記事検索サービス (http://www.lib.u-toyama.ac.jp/NikkeiBP_guide.html)



図 7-12 日経 BP 記事検索
サービス

日経BP社が発行する雑誌（日経ビジネス・日経コンピュータなど）のバックナンバー記事を、オンライン上でダウンロードできます。年間全文ダウンロード数に一定の上限がありますので、必要な記事のみ閲覧するようにしてください。

- ・ 富山大学学術情報リポジトリ ToRepo (<https://toyama.repo.nii.ac.jp/>)



図 7-13 富山大学学術情報
リポジトリ ToRepo

本学で生み出された学術的な成果物（研究論文・報告書・学会発表資料など）を収集・蓄積・保存し、発信しているサービスです。この取り組みは各大学で行われており、CiNii Articles などの論文検索データベースからリンクを辿って利用することも可能です。

7.2.3 新聞記事

- ・日経テレコン (<http://t21ipau.nikkei.co.jp/ipauth/auth/auth?sid=1>) 学内限定



図 7-14 日経テレコン

日本経済新聞社が発行する新聞やニュースの記事検索や、記事本文を読むことができるデータベースです。ナビ型記事検索では、テーマや業界ごとに絞り込みキーワード候補が件数入りで表示されるので、便利です。見出しや本文の表示件数に応じた従量料金制の有料データベースですので、十分に絞り込み検索をしながら利用するようにしてください。

- ・聞蔵II (<http://www.lib.u-toyama.ac.jp/gakunai/kikuzo2.html>) 学内限定



図 7-15 聞蔵II

朝日新聞社が発行する「朝日新聞」、「AERA」、「週刊朝日」、「朝日新聞縮刷版」などの記事検索や、記事本文を読むことのできるデータベースです。学内で同時にアクセスできる数が1のため、アクセスできない場合はしばらく待ってから再トライしてください。

- ・ 国立国会図書館 無料記事検索サービス

(https://rnavi.ndl.go.jp/research_guide/entry/theme-honbun-700003.php)

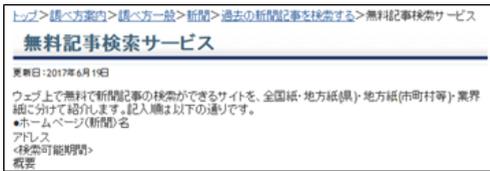


図 7-16 無料記事検索サービス

ウェブ上で無料で新聞記事の検索ができるサイトを、全国紙・地方紙(県)、地方紙(市町村等)・業界紙に分けて紹介しているサービスです。富山県関係の記事検索ができる「富山県立図書館 県内記事情報検索」も紹介されています。

7.2.4 統計資料

- ・ 政府統計の総合窓口 e-Stat(イースタット) (<https://www.e-stat.go.jp/>)



図 7-17
政府統計の総合窓口
e-Stat

各府省等の統計情報を一括して検索・閲覧することができるサイトです。人口動態調査や労働力調査、家計調査など、様々な統計情報を見ることができます。統計年鑑等の統計書やリンク集から、日本だけでなく世界の統計情報を調べることもできます。

- ・ とやま統計ワールド (<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/index2.html>)

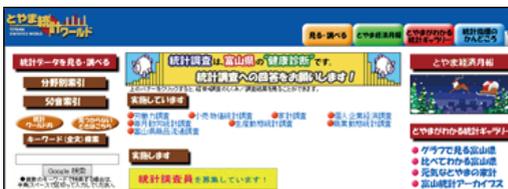


図 7-18
とやま統計ワールド

富山県内の統計情報を検索・閲覧することができるサイトです。学校基本調査や市町村地方財政状況・労働統計調査など、富山県内の様々な統計情報を調べることができます。

7.2.5 その他

- ・富山大学で利用できるデータベース一覧 (<http://www.lib.u-toyama.ac.jp/db/db.html>)



図 7-19 富山大学で利用できるデータベース一覧

これまで紹介した以外にも、富山大学では、化学・数学・医学・薬学・看護学・教育学・法学など様々な専門分野のデータベースを利用することができます。詳細は富山大学附属図書館ウェブサイトのデータベース一覧をご覧ください。

7.3 図書館からの情報発信

- ・ウェブサイトの紹介 (<http://www.lib.u-toyama.ac.jp/>)



図 7-20 富山大学附属図書館ウェブサイト

附属図書館のウェブサイトでは、三館（中央図書館・医薬学図書館・芸術文化図書館）の開館状況の確認や、開館カレンダーの表示、図書館概要など、三館に共通する情報を掲載しています。各館からのお知らせや利用案内などは、それぞれの図書館のウェブサイトからご覧ください。

・Twitter、Facebook での情報発信



図 7-21 富山大学附属図書館 Twitter

情報発信は Twitter や Facebook からも行っています。図書館のイベントに関することや、本や図書館の施設の紹介など、さまざまなお知らせをリアルタイムに行っていますので、利用している人は是非フォローをお願いします。

7.4 講習会（イベント）の実施



図 7-22 各種講習会のポスター

図書館では、学修や学生生活に役立つ様々な講習会を実施しています。これまで、レポートの書き方講習会や、文献の探し方講習会、各データベースの利用説明会のほか、富山ビギナー講座なども行ってきました。今後も学生の皆さんにとって必要な講習会を実施していく予定ですので、積極的にご参加ください。また、「こんな講習会（イベント）を開催してほしい」「こんな講習会（イベント）を開催してみたい」といった要望がありましたら、お気軽に図書館までご連絡ください。連絡先はこちら → oshiete@adm.u-toyama.ac.jp

7.5 演習問題

次の文章の_____の部分埋めてみよう。

- ①言葉の意味や事柄について調べるために、図書館の参考図書コーナーにある辞書や事典と、ウェブ上のデータベースである_____や_____を使用した。
- ②富山大学附属図書館の本を探すために_____を検索してみたが、残念ながら富山大学には所蔵がなかったため、_____を使って他大学の所蔵を確認した後、所蔵館からの取り寄せを依頼した。
- ③日本語の論文を探すことのできるデータベース_____を使って論文を探したところ、リンクボタンから電子ジャーナルを読むことができた。その論文の参考文献リストに記載されていた英語論文を探すのに、学内限定で使えるデータベース_____を使用した。



富山大学附属図書館キャラクター LiLiKa